



たくましく豊かに伸びる滝呂の子ども  
～考えつくりだす子 はげましあう子 きたえる子～  
4本柱「まんぞく授業」「さきがけあいさつ」  
「ピカピカそうじ」「げんきな体と心」

<http://school.city.tajimi.lg.jp/takiro/>  
2025.11.28 第9号

## ふるさとの営みを知る

校長 鈴木雄詞



岐阜県の教育が大切しているものの一つに「ふるさと学習」があります。子どもたちが自分のふるさとのことを知り、そこで暮らす人と関わる中で、ふるさとに愛着や誇りをもち、ふるさとに貢献できる人を育てたいと願うからです。

本校も、先日、2年生と3年生がそれぞれ地域に出かけていきました。

2年生は生活科の「町たんけん」で、お店・公共施設・神社へグループ単位で訪問し、見学したりお話を聞いたりしてきました。直接お話をすることで、町のために働く方たちの工夫や努力、願いを知ることができました。子どもたちにとって新たな発見もあったようで、目を輝かせている様子が印象的でした。

3年生は、総合的な学習の「ふるさと学習滝呂」で、町の中にある製陶所へグループで別れて見学しました。多治見は昔から陶磁器の生産が盛んであるということは知っているものの、実際に工場を見学し、大きな焼成窯や土練機、カップなどを成形する機械を見せてもらったり、従業員の方にお話を聞かせてもらったりしてたくさん学習できました。絵付けや器づくりなど、体験までさせていただきとても楽しそうで、大いに焼き物に関心をもった様子でした。

児童たちが大人になって、皆が皆、滝呂町で働き暮らしていくとは限りません。しかし、一旦町を離れ、違う都市や国々で得た知識や技能を滝呂に持ち帰ったり、戻れなくても行った先々で故郷のよさを語れる子を育てていきたい、そう思っています。賛同し協力してくださった皆様、誠にありがとうございました。

学校の様子はホームページからもご覧いただけます。→

